

広報

県遊協

井上理事長
年頭のあいさつ

山形県遊技業協同組合
TEL 023-615-6922
FAX 023-615-6923
E yamagata@zennichiyure.n.or.jp



新年 謹賀

★2013年「年頭の挨拶」

あけましておめでとうございませう。早いもので県遊連を解散し山形県遊技業協同組合を設立して一年経ちました。組合設立準備から立ち上げ、多くの組合員の皆様や事務局のご協力を得て、大変素晴らしい組合活動を行って来れたことに深く感謝申し上げます。今年、鶴岡支部と酒田支部の統合を控えておりますが、県内4支部体制で困難な時期を迎えている遊技業界の将来に向けて寄与していくべきと決意を新たにしております。組合員の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。さて、私たち業界はパチスロ4号機以来幾多の困難に遭遇しておりますが、今行政からの新たな広告イベント規制が加わり、業界の活性化には大変困難な状況を迎えております。4円パチンコにおいて客離れが大きくなって来ており、一層の低価格化に突き進んで来ておりますが、そんな低価格路線でさえも限界にさしかかっています。残念ながらスロットにおいてもパチンコ同様に低価格化が進んで来ております。しかしながら私たちは、業界の将来のために現状をしっかりと見つめ直し、業界の体質改善を行い、お客様のニーズに答えていかなければ業界の将来は益々危ういものになってしまいます。ここは、皆様のお力をお借りしながら、お客様に喜ばれる業界とはどうあるべきなのか、お客様に答を見つけていかなければならないと思っております。そんな中で日工組では、エコパチという名の下で封入式パチンコの開発が行われようとしています。本当にエコなのか、業界の活力源となるのか、ホールの負担は軽減されるのか、強いてはお客様の負担増となって業績に跳ね返ることではないのか、その辺の議論を全日遊連として

もしつかりやって行かなければと考えております。今年、パチンコ産業全体で英知と情熱を結集してこの難局を乗り切って行かなければならぬ年であるという新たな気持ちで新年を迎えたい。力を合わせて乗り越えて行きましょう。今年も宜しくお願い申し上げます。



●業界の2012年を振り返って

昨年は業界にとつて様々なことがあった一年だった。その中で特に心を突いたのは、警察庁玉川補佐の語った「業界の健全化を阻害する四つの悪しき習慣」(昨年8月号掲載)。厳しい表現で反省を求めたもので業界にとっては耳の痛い話だが絶対忘れてならない前代未聞の講話だったと思う。また、「のめり込み問題」が浮上り、その対策が急務だがその対応は始まったばかり。そのほか広告宣伝規制や等価を前提とした一物一価、異常計数機や貯玉再プレー、総付景品等の問題に繰り返して行政から指導や是正を求められて来た一年でもあった。また、最重要案件とした消費税問題も国会で可決し税率アップが確定した。全日を始めとするホール団体は早急に議論する必要がある筈。では県遊協はどうだったか。一月に県遊協の一本化を達成し船出の年だったが、行政の再三の指導に対し各ホールは良く対応して頂いたと思う。

AMマーク問題や酒田・鶴岡両支部合併問題も目処を付けた。一方では、役員となる組合員不足が顕著なことや共同購買の低調とAMマークの廃止で資金不足も予想される。これらの課題については、将来を見据えてしっかりと取り組む必要がある。サントリー酒類宣伝部長の和田さん(ハイボールの火付け役)は講演で「一旦今を忘れて5年後・10年後の自分たちの姿をイメージする。そこから逆に今何をすべきか考える。そうするとアイデアも次々湧いてくるんです」と述べている。平成25年度は、和田さんの目線で県遊協を運営して行ければいいなと思っております。事務局

◎自公大勝・どこがどう変わる日本?

自公で325議席、景気対策、原発、一体改革、復興、外交、TPP等々大変だよ

◎全国の暴力団の動きから

▽現金渡した店長に中止勧告

愛知県公安委員会は本年11月、ホール店長が指定暴力団山口組弘道会幹部に現金を渡したとして県暴力団排除条例に基づき、同店長に対し、利益供与をやめるよう勧告した。現金100万円を渡したとのこと。(これまで数千万円)

▽不当要求経験の有無調査結果

アンケートにより、不当要求経験の有無を調査。2900社のうち337社(11.3%)が「不当要求を受けた」と回答、うち62社が「不当要求に応じた」と回答した。金額は約半数が10万円前後、500万円以上が5社あった。実際は、もっと数字が上がるのではないかと推定され、現時点でも多数のみかじめ料提供の存在が判明したもの。このアンケートで遊技業界も72社が回答、「不当要求を受けた」が4社、提供はゼロとの調査結果だが、前述の通り存在することが明らかとなっています。県遊技業暴力追放対策協議会は、平成22年10月27日、「みかじめ料縁切り同盟」を結び、暴力団との関わりを一切持たないと決意表明しております。

失敗を語る事が大切

職場教養

Mさんが新入社員だった頃の話。ある先輩に対する非礼を悔やんでいたMさんは、思い詰めて直属の上司に相談した。上司は、自分自身の同じ失敗を語り「心で悔やんでも本物ではない、その思いを言葉にすることが大切」と諭した。それを聞いたMさんは、鉛のように重い心が軽くなった。上司の語った失敗談によりMさんは背中を押された。「この人も同じ道を通ってきたのだ」という安心感が心の重しを取り去ってくれた。Mさんは先輩のもとに向き非礼を心底からわびた。以来、Mさんと先輩とは強い絆で結ばれた間柄となり現在も続いている。どんな人でも失敗を経験することで成長する。後輩育成のポイントの一つは、先輩の失敗談を彼らの肥やしにしてあげること。失敗談は聞く人にほどよい共感を与えるものです。

★AMマーク貼付事業の廃止について

昭和61年から始まったAMマーク貼付事業を平成25年4月30日を最後に廃止することが先の理事会で決定しました。7月・9月・11月と3回にわたる理事会での協議で最終的には「AMマークの役割りは終わった」との結論に至りました。約27年余りに渡る歴史に幕を下ろす訳ですが、この事業での収入は年総額約五三〇万円。平成25年度の予算編成では各分野で徹底した見直しをかけることとしていますが、購買事業の不振もあり苦戦しそうです。今後、財務委員会や理事会で十分議論を重ね、必要な対策を取りたいと思っております。

●新年明けましておめでとうございませう

昨年中は県遊協の運営にご協力いただき誠に有り難うございました。本年も宜しくお祝い申し上げます。平成二十五年 元旦

山形県遊技業協同組合
理事長 井上 静夫
外 役 職員 一同



いつも心に掛けていただいていた有り難うございます。今年も駐車場の巡回宜しくお願いいたします。寒い折、風邪に注意して下さい。

編集後記

どんな年になるのか?色々考えてみました。どんな政治を行い、どんな経済対策を取るのかまだ分からないのです。ともあれ震災被害の復興だけはしっかりとやって欲しいと思っております。さて、皆さんはどんな正月でしたか。政治や経済がどうであれ新しい年のスタートです。県組合が一本化し、満一年を迎えました。私の印象では、何とか独り立ち出来たかなと思っております。今後とも変わらぬご協力をお願いいたします。今年こそ皆さんにとって

良い年でありませうように。 熊坂

